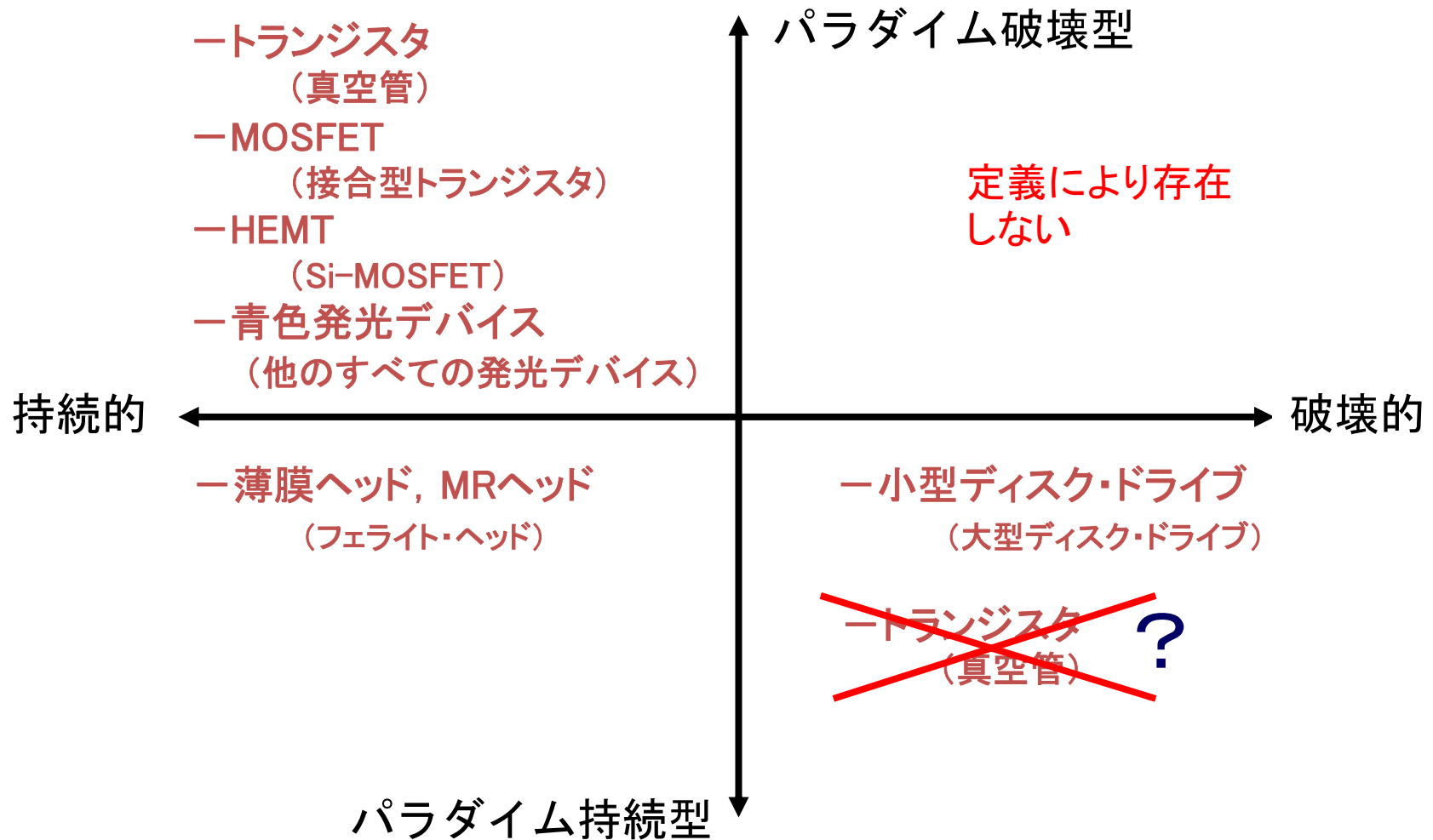
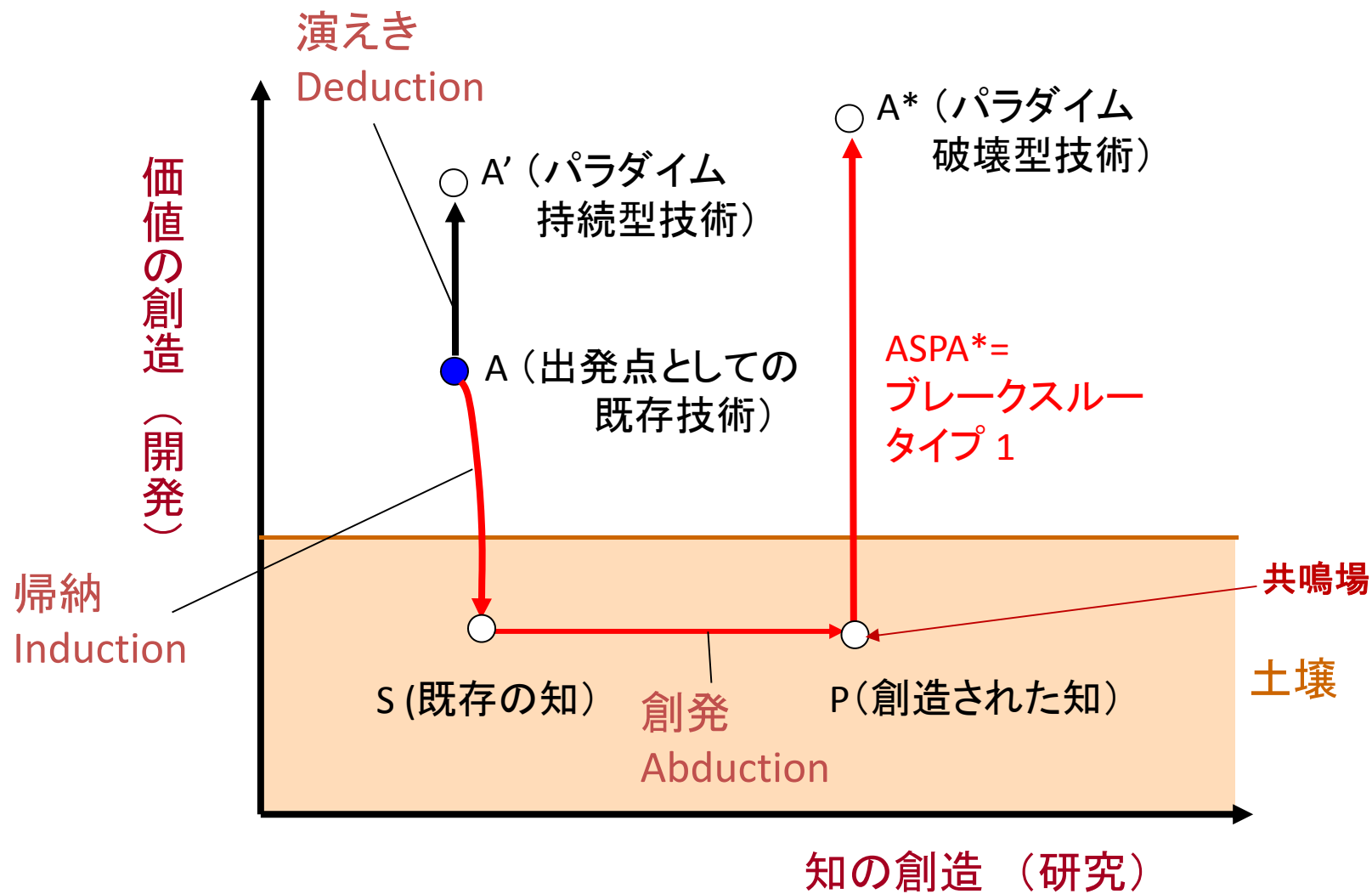


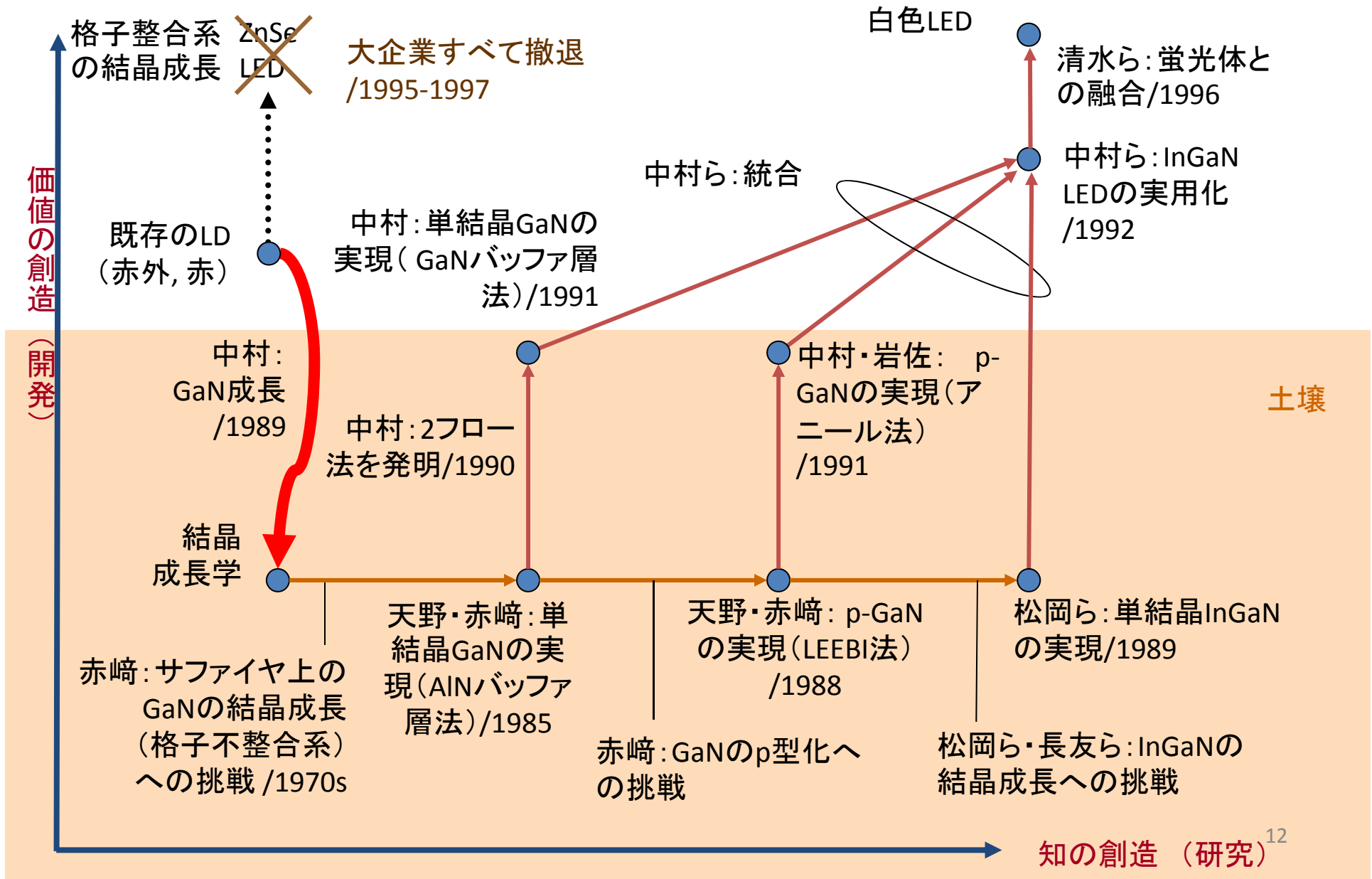
# Christensenの誤謬—破壊的イノベーション



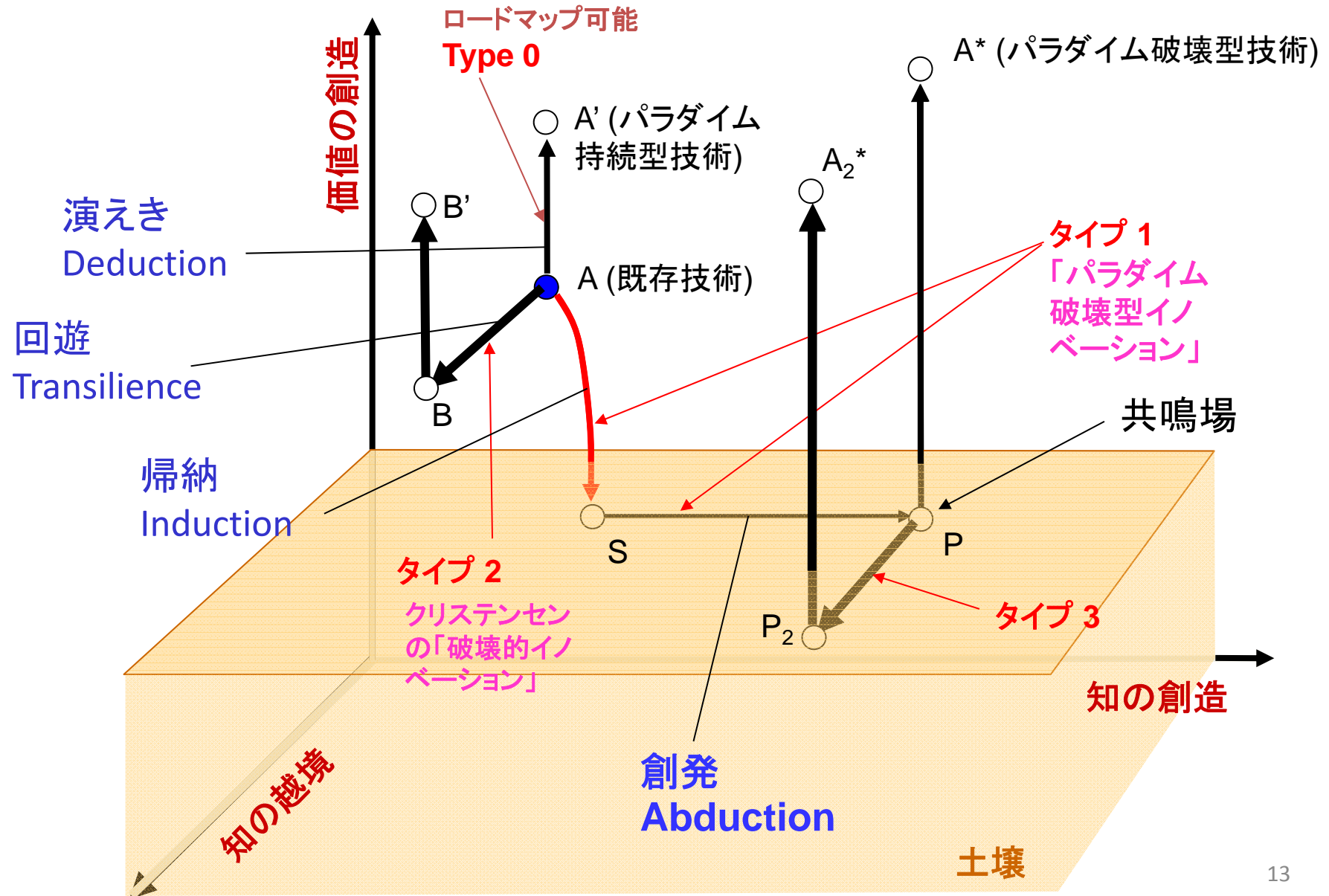
# イノベーション・ダイアグラム



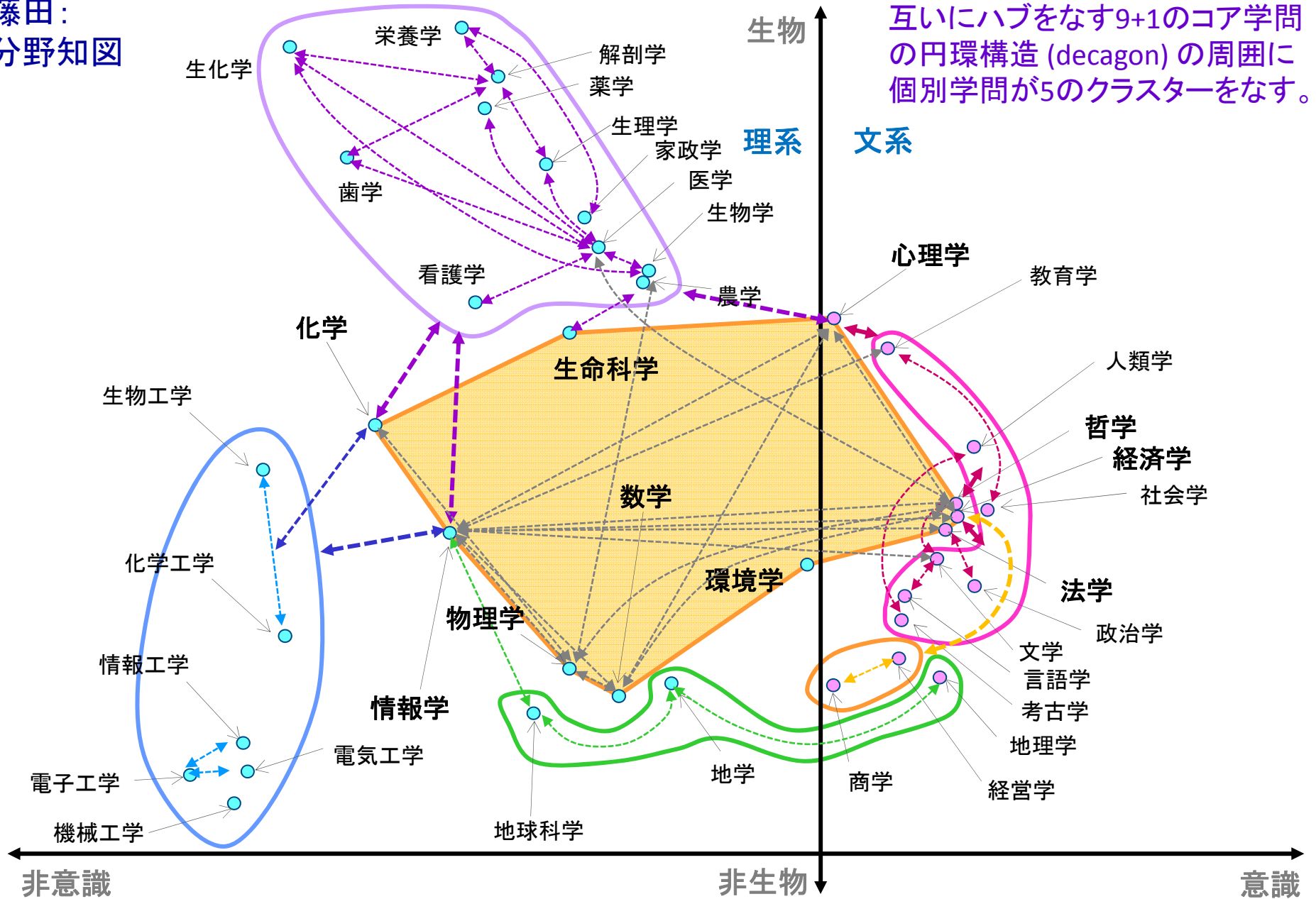
# ケーススタディ・青色発光ダイオード



# 21世紀のイノベーションモデル



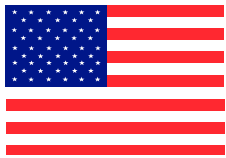
藤田：  
分野知図



# 若き科学者を起業家にする制度＝SBIR制度

## SBIR 政府調達等を通じたベンチャー創出制度

SMALL BUSINESS INNOVATION RESEARCH



- 1982年より始まる
- 連邦政府外部委託研究予算 (extramural research fund) の2.9 % は、この制度に拠出することを、法律で義務付ける (2000億円/年)
- Phase 1, 2, 3の多段階型のスター発掘システム (ベンチャー登竜門)

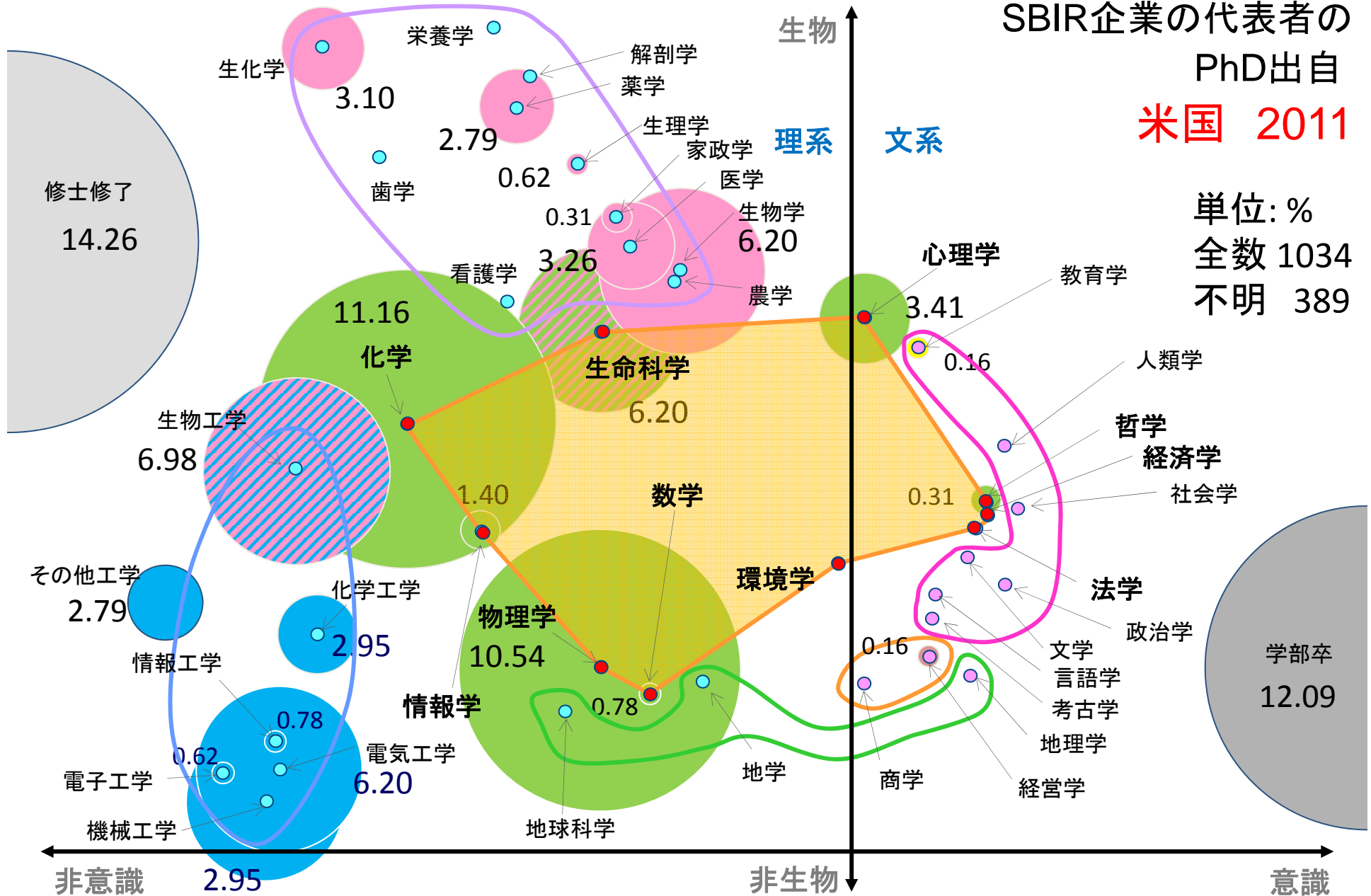
創業初期 (無名 & 資金なし) に具体的な挑戦課題と自己負担のない良質のグラントを与える。

**Phase 1: アイデア競争**。ビジネスプラン作成を作成する

**Phase 2: 可視化競争**。アイデアを形にする (Commercialization)  
リスクマネーの不確実性を減らし、Reputationを付与

**Phase 3: ビジネス化支援**。政府調達 or VC紹介 (リアルな投資)

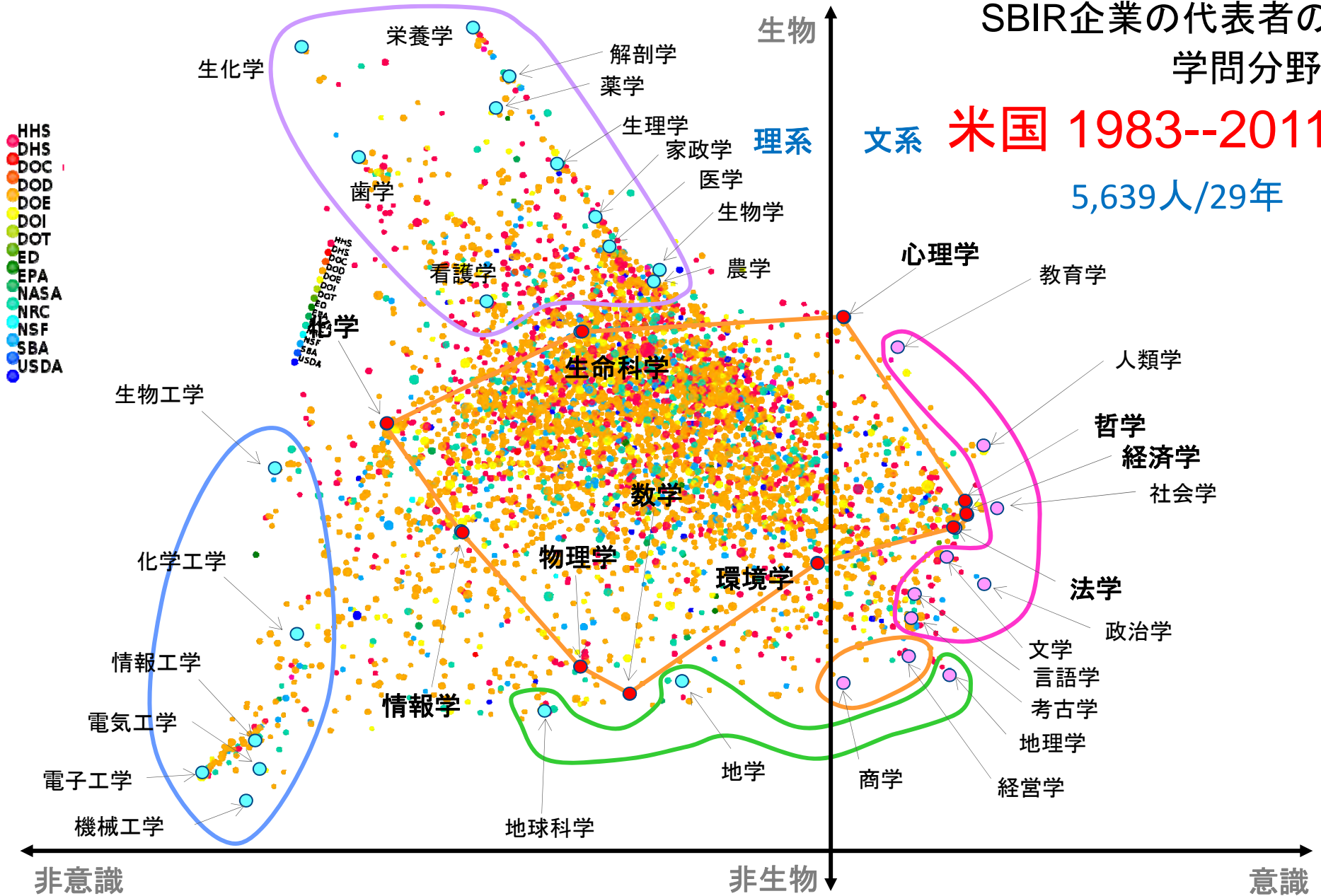
SBIR企業の代表者の  
PhD出自  
米国 2011



米国では、1982年SBIR施行以来、代表者の74%が博士だった。即ちSBIR政策を通じて大学で生まれた最先進の知識を体系的にイノベーションに転換してきた。

# SBIR企業の代表者の 学問分野

文系 **米国 1983--2011**  
5,639人/29年



SBIR企業の代表者は、主として生命科学に軸足を置きながら、いずれかのコア学問に2本目の足を置いている。